

教科名	公 民	科目名	倫理（3年次）【2単位】	
授業形態	講義形式			
選んでほしい生徒	1 自分の生き方を探求してみたいと考える者 2 宗教や日本・世界の思想家について興味のある者			
科目の目標	民主的な社会の一員として、よりよく生きるために自分はどうのように生活したらいいのか、見つける力を身に付ける。			
身に付けてほしい学力	1 青年期の心とからだの特徴をつかみ、自分を客観的に見つめる力 2 宗教や世界・日本の思想から、自分なりの生き方を考える力			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【1学期】 1 青年期の課題と自己形成 2 思想の源流から学ぶ 【2学期】 3 近現代の西洋思想から学ぶ 【3学期】 4 倫理的課題を追究する		・青年期の心とからだの特徴を学習する。 ・世界宗教や古代思想のあらましを学習する。 ・さまざまな近現代の思想家の考えを学習する。 ・生命倫理や環境倫理など現代の課題を探究する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
	・現代社会の諸課題に関心を持つことができる。 ・人格の形成に努める実践的意欲を持つことができる。	・先哲に示された人間尊重の姿勢や合理的な考え方を身に付けている。それにもとづき現代社会の諸問題を合理的に考えることができる。	・資料を、その時代の社会背景をくみ取りながら読み取ることができる。また、論理的に構成し、表現できる。	・青年期の心身の変化について、哲学・宗教・芸術や科学などの基本的な知識を理解している。
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	1 概念の把握など、抽象的な思考が求められます。なるべく多くの本に親しんでおきましょう。 2 自分の体験と重ね合わせることで理解が深まります。いろいろな体験をして、いろいろな人と話すことも大切にしましょう。			
教材費	教科書（約500円）			
その他	中学校まででは、ほとんど学習しない科目ですが、世界の人々と理解しあうためにも大切な学習です。			